

第 26 号 特許法第 104 条の 3 に関する研究  
〔別冊 パテント 第 2 号 発行日：平成 22 年 2 月 8 日〕

目 次

- ・ 特許権侵害訴訟におけるクレームの解釈と無効理由の審理判断 — 公知技術の参酌  
を中心として— . . . . . 大瀬戸豪志 1
- ・ 侵害訴訟中における特許の有効性判断（特許法 104 条の 3）の構造 — 米独との  
比較考察— . . . . . 大友 信秀 12
- ・ 「特許侵害訴訟における特許発明の技術的範囲の認定」と「無効抗弁における発明  
の要旨認定」におけるクレーム解釈のあり方 . . . . . 伊藤 晃 20
- ・ 特許法 104 条の 3 に関する攻撃防御について . . . . . 竹下 明男 43
- ・ 特許法 123 条・104 条の 3 の解釈運用等に関する一考察 — 特許権の法的安定  
性の観点より— . . . . . 松田 一弘 55
- ・ 104 条の 3 の抗弁を巡る実務上の幾つかの検討点 — ダブル・トラックの是非論  
に関連して— . . . . . 三山 峻司 79
- ・ 特許の有効性を巡る裁判所と特許庁の判断の齟齬（再審の議論を中心に）  
. . . . . 岩坪 哲 105
- ・ 特許法 104 条の 3 の有効活用に向けて — ダブル・トラック現象・再審制度と紛  
争の一次的解決の調和— . . . . . 重富 貴光 121
- ・ 特許権者による訂正の主張を巡る問題 . . . . . 鈴木 将文 146
- ・ 記載要件（発明開示要件）違反と特許法 104 条の 3 . . . . . 平嶋 竜太 166
- ・ 特許法 104 条の 3 の抗弁に対する一事不再理効の適用の可否に関する検討  
. . . . . 小山 靖 198

- ・ 米国における特許権の有効性判断 . . . . . 井関 涼子 214
  
- ・ 特許法 104 条の 3 に基づく抗弁と無効審判との関係 — ドイツの制度と対比した  
検討 — . . . . . 川上 桂子 229
  
- ・ 商標法におけるキルビー抗弁・権利行使制限の抗弁（特 104 条の 3 抗弁）に  
関する問題点 . . . . . 宮脇 正晴 241
  
- ・ 特許法 104 条の 3 の商標法における意義 . . . . . 松井 宏記 248

研究員（敬称略、役職は報告書作成当時）

会員外研究員 鈴木 将文（名古屋大学大学院法学研究科教授）

大瀬戸 豪志（甲南大学法科大学院教授）

井 関 涼子（同志社大学法学部法律学科教授）

大 友 信 秀（金沢大学人間社会研究域法学系教授）

松 田 一 弘（京都大学大学院法学研究科教授）

宮 脇 正 晴（立命館大学法学部准教授）

平 嶋 竜 太（筑波大学大学院ビジネス科学研究科企業法  
学専攻准教授）

会員内研究員 伊 藤 晃（弁理士）

松 井 宏 記（弁理士）

三 山 峻 司（弁護士・弁理士）

竹 下 明 男（弁理士）

川 上 桂 子（弁理士）

小 山 靖（弁理士）

岩 坪 哲（弁護士・弁理士）

重 富 貴 光（弁護士・弁理士）